

## 第4回滝沢市地域公共交通会議 議事概要

### 1 会議開催の日時及び場所

- (1) 日時 平成28年2月25日(木) 14:00~15:30
- (2) 場所 滝沢市役所 4階 中会議室

### 2 会議を構成する者の現在総数及び出席者

- (1) 会議を構成するものの現在総数 19名
- (2) 出席者 13名

委員 福島 功一郎  
委員 三上 金昭  
委員 大野 尚彦  
委員 工藤 賢樹  
委員 川村 尚雄  
委員 上野 幸子  
委員 佐藤 光保  
委員 阿部 正喜  
委員 野崎 等  
委員 小原 重幸  
委員 今野 英伸 (代理 梶谷 英美)  
委員 元田 良孝  
委員 佐野 峯茂

#### 欠席者 6名

委員 高橋 聖一  
委員 佐藤 利樹  
委員 川端 洋  
委員 鈴木 稔  
委員 宮澤 淳  
委員 鈴木 敦

#### 事務局出席者

都市整備部 三上部長  
交通政策課 大宮課長、佐藤主査、竹本主査

### 3 開会

進行 事務局 交通政策課 大宮課長

### 4 市長挨拶

委員の皆様には、日頃から本市の市政運営にご協力をいただき、感謝申し上げます。また、本日は、年度末のお忙しい中、「第4回滝沢市地域公共交通会議」に、ご出席賜り誠にありがとうございます。

さて、近年、全国的に公共交通の利用者が減少し、公共交通の利用実態が大きく変化しております。このような状況を受け、本市におきましては、公共交通に関する市の総合計画である「滝沢市地域公共交通網形成計画」を、委員の皆様のご意見を踏まえながら来年度を目標に策定し、市民の生活の足として不可欠な公共交通の維持・促進を図りたいと考えており、当会議におきまして、本市の公共交通のあり方や交通システムなど

を協議、検討して頂きたいと思っております。

本日は、今年度を実施しました「滝沢市公共交通実態調査」の結果についてご報告申し上げますと共に、当調査結果を踏まえて策定する「滝沢市地域公共交通網形成計画」につきまして、情報提供を行う予定でございます。

また、当会議発足以来、約6年間に渡り、会長を務めていただきました、岩手県立大学・総合政策学部の元田（もとだ）教授におかれましては、この度、同大学の定年退官に伴い、当会議の委員をご勇退されることとなりました。

元田教授は、平成10年に同大学の開校と共に着任され、18年間の長きに渡り、本市の交通政策分野だけでなく、都市政策分野におきましても大変ご尽力をいただきました。また、本市はもとより、国、県、他市町村の各種委員も併任し、日本の交通並びに都市政策分野におきまして多大なるご功績を残されました。この場をお借りしまして、これまでのご尽力に深く感謝申し上げますと共に、今後の更なる活躍をご祈念申し上げます。

おわりに、本日の会議での活発なご協議をお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。

## 5 出席者紹介

委員紹介 構成員名簿順に委員を紹介

職員紹介 市役所担当事務局出席職員を紹介

## 6 本日の会議について

- ・公共交通会議委員19名中13名の出席のため会議が成立する旨の報告。
- ・原則公開の会議であるので、議事概要をホームページ上に公開することで了承。

## 7 議事

### (1) 議事1 滝沢市公共交通実態調査結果について（説明者 交通政策課 佐藤主査）

- ・別添資料1に基づき担当課から説明。
- ・質疑等

質問：アンケートの結果、近隣の市町村と比べて滝沢市の特徴的なところは何か？

回答：滝沢は盛岡のベッドタウンであり、盛岡に行っている人が多い。また、学生では、盛岡から滝沢に通っている人も多い。

質問：滝沢の場合は、通勤・通学・買い物など公共交通より自動車为主体。こうした中、公共交通利用を調査した結果と思うが、成果は？

回答：その利用傾向は予想されたが、具体的な割合が把握できたこと。学生など比率の高い利用者のニーズを把握できたことなどである。

意見：滝沢ではほとんどが自家用車を利用しているので、課題は道路。混雑や未整備個所の解消などを期待するが、公共交通では特に福祉バス。利用者数から再検討も必要とあるが、睦大学などの利用者に配慮する必要があると思う。

意見：睦大学の利用者からは、車のない方など要望も多いので存続を考えてほしい。

回答：道路の要望もあったが、渋滞解消のためにも公共交通の利用が重要。歩くことで医療費の削減につながるなどの話もあり、様々な課題を詰めながら分析を進めて参りたい。

質問：福祉バスの利用者が行きと帰りで違う要因は？

回答：睦大学の講座が午前で終わるものがあり、帰り便の利用が少ない。今後は、利用者のニーズを考えながら、路線・便数など検討したい。

質問：巢子駅のパークアンドライドの状況は？

回答：駐車場の利用は市内だけでなく市外の利用者もあり、満車対策が今後の課題と考えている。

意見：巢子駅の利用は一本木や柳沢からもあると思う。一方で、病院については比較的滝沢市内の利用率が高いなど、このアンケート結果は多方面に活用できると思う。

(2) 議事2 滝沢市地域公共交通網形成計画の策定について（説明者 交通政策課 佐藤主査）

- ・別添資料2に基づき担当課から説明。
- ・質疑等

議長：現在ある「滝沢村公共交通計画」は10年前に策定されたものだが、先進的な内容を含んでおり、「滝沢市地域公共交通網形成計画」の策定にあたってこれがベースになる。この公共交通網計画はまちづくりとリンクさせて考えていくことが大事である。例えば、富山市では、公共交通とまちづくりを一緒に進めており、路面電車やバス等の公共交通を使える地域に人の移転を進めコンパクトなまちをつくる施策を展開している。他の都市でも検討して頂きたい。以上で、議事は終わりましたが何かありますか・

質問：最近、高齢者の事故も多く、一方で自主的に運転免許の返納も増えているようだが当地での状況は？また、返納した後の移動手段等調査されているか？

回答：数値的なものは確認していないが、年々、高齢者の方の返納は増えてきており、足の確保のためにも公共交通は大切。

議長：今年度、県警の協力を得て免許センターでアンケート調査を行ったところ、タクシー料金の割引や公共交通運賃の割引など、返納後も足を確保することなどを考える必要はある。

8 その他  
特になし

9 閉会  
・三上都市整備部長より閉会の挨拶



市長挨拶



会議の状況



会議の状況